

市販アルコール燃料の分析について

分析項目の検討結果

- オクタン価を計測項目から削除
 - 理由：
 - アルコール燃料がオクタン価試験用エンジンに悪影響を及ぼす懸念から、分析機関に引き受けてもらえない。
 - オクタン価はアンチノック性の評価項目であり、安全性の調査を行う上での分析項目としては必ずしも必要とはいえない。

アルコール成分の分析と元素分析

- アルコール, MTBEのガスクロマトグラフィーによる分析を行う.
- 当初計画案にあった元素分析は削除する.
 - 理由:
 - 指定分析機関で, ガスクロマトグラフィーによる各アルコール成分やMTBEの濃度を分析することが可能である.
 - 今回の調査では, 各アルコール成分やMTBEの濃度を知ることが燃料の実状を把握する上で有用であり, 分析結果から燃料の元素比率や酸素含有率を算出する必要性は薄いと考えられる.

分析項目

分析項目	単位
密度	g/cm ³
蒸気圧(リード法)	kPa
蒸留	
実在ガム(洗浄)	mg/100ml
実在ガム(未洗)	mg/100ml
炭化水素組成	
芳香族分	容量%
オレフィン分	容量%
飽和分	容量%
ベンゼン	容量%
MTBE	容量%
硫黄分	wt.ppm
酸化安定度	min
銅板腐食	-
色	-
水分	ppm
アルコール成分	容量%
メタノール	
エタノール	
プロパノール	
i-プロパノール	
i-ブタノール	
n-ブタノール	

市販アルコール燃料の分析機関

- 指定分析機関にて実施

(分析項目の全てを実施可能な機関を指定分析機関から選択)

- 全国石油協会

- 日本海事検定協会

- 新日本検定協会

- 上記3機関のキャパシティー(一定期間に分析できるサンプル数)に応じて分担実施.